

那覇市議会議員 新垣 淑豊 (あらかき よしとよ)



Vol. 5 2019 Feb

TANとはThink About Naha、Talk About Naha (那覇について考えよう・話し合おう!)「接点」という意味のTangent(タンジェント)から名をつけました。市民と市民そして市民と議会や那覇市が繋がるような情報を伝えたいと思いを込めて発行する議会報告紙です。多くの皆様に目を通してください、ご意見をいただければ幸いです。



今月の内容／YOSHITOYO's Questions ~よしとよの議会報告~・聞いてみました

**YOSHITOYO's Questions**  
よしとよの議会報告



議会で取り上げた質問について「なぜ?」その問題を取り上げたか  
「どのように」那覇市が考えているかなどをお伝えしていきます。

一般質問

## 01 國際通りの課題ってなんですよ?

最近、國際通りに不法に捨てられたゴミが増えているようです。不法ゴミは回収が難しく、またそこにゴミが捨てられるなど悪循環の発生点となります。現状は県と那覇市に対して年50件近くの苦情があります。他にも治安悪化の声も寄せられています。商店街では防犯カメラの設置を行うため平成29年内閣府の防犯カメラ設置の補助金を活用したかったが、当時の那覇市はカメラ運用のルールが作られていないということで設置できませんでした(残念…)

そこで現在はどうなっているのかを確認したところ「昨年来、自治会からの要望や協議会での議論を踏まえて【那覇市防犯カメラの設

置及び運用に関する条例】案を策定し、市民意見の聴取を経て2月議会へと上程、4月には施行予定となっている」とのことでした。その他、違法で危険な大型看板などが道路に多く置かれ、オートバイや自転車の違法駐車がものすごい数になっています(指導数:看板は6668件、駐車については4603件・11月末時点)商店街だけではどうにもならないので、県市行政とも連携強化をしていただきたいということ、そして市長も公約として違法看板など迷惑行為の是正指導の強化を述べているので、一緒になって違反の店舗への声かけをしてほしいとお願いいたしました。

しかし、本来は行政で取締強化していくので

はなく、各事業者がルールとマナーを守って商売しやすい環境づくりも行う必要があると思います。



国際通りの不法廃棄物

不法看板を片付けても  
ブロックは残ります

一般質問

## 02 厚生労働省に先手を打たれてしまいました…三日はしか(風疹)



那覇市保健所も市民の健康のためがんばってます！

2017年から2018年6月にかけて「はしか」(麻疹)が流行しました。現在は「三日はしか」(風疹)の患者も発生しております。那覇市も海外からの観光客が増えると、このような感染症が伝わり、さらには広まる恐れもあります。経済的な影響もありますが、市民の健康、特に妊婦さんが風疹にかかるとお子さんにも悪影響が出ます。那覇市も風疹に関しては県内唯一の抗体無料検査を行っています。そこさらに市民の健康保持と観光の観点から一

括交付金活用を提案しようと思ったのですが、質問前日に厚労省から「三年間の風疹予防接種の無料化と公表されました!(焦)」しかし、保健所を所管する那覇市としては他の感染症のこともありますので、予防と発生後の対応について取り組みを強化する要望しました。

一般質問

## 03 隣の「あき地」にハブが出て困っています、どうしたらいいでしょう?

地域の方からご相談でした。お隣の土地の主が高齢の方や遠隔地にお住まいで管理できていない空き地があることがわかりました。ここ10年ほど全国的にも課題となってきています。管理不良の空き地の相談がどの程度あるのかを聞いたところ、過去3年で276件(2016年101件、2017年127件、2018年48件)となっています。

【那覇市あき地管理の適正化に関する条例】はあるものの雑草の管理だけで、立木は適応していません。しかし、台風で折れた木が窓

を割る、サッシを壊すなど、木の対応も必要です。

他の市町村(県外)の条例の事例から

1. 市外にお住まいの方の所有地は管理者を定めて登録してもらい、責任をもって管理をしてもらう。
  2. 立木に関しても所有者の管理責任を条例で定め、何度か指導しても改善が見られない場合は代執行ができるようにする。
- ということも検討するように要望いたしました。



空き地の雑木が隣の家に倒れることもあります



Facebook:あらかきよしとよ / Twitter:あらかきよしとよ@yo4104 / Instagram:arakaki44104 / Blog:44104.jp (TaN/Think&amp;Talk about Naha)

## 04 照れます、議会で「ハイサイ！」

那覇市では「ハイサイ・ハイタイ運動」以外にどんなうちなーぐち普及についての取り組みをしているのか?質問してみました。  
市民向け講座で舞踊・琉歌・芝居を通して5歳から80歳までの世代交流も合わせて、しまくとうばの習得をしてもらい、成果公演も行いました。来年は小学生による組踊版「スイミー」を2019年1月に予定。他にも小中学校で小冊子の活用や黄金言葉の掲示、挨拶で取り入れています。そして琉球王朝祭り首里では「語やびら島くとうば大会」(首里振興会主催)などにも参加するなど気軽にふれる機会を増やしているとのことです。

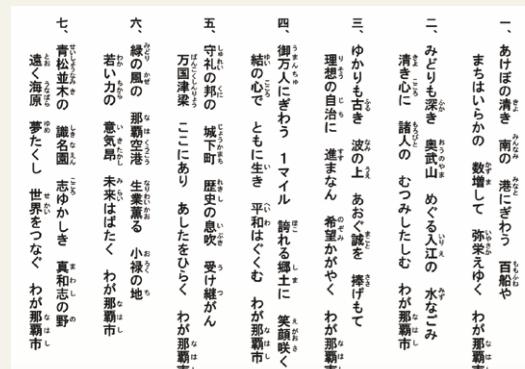
そのことに合わせて「外部講師の活用で歌三線や琉舞を小学校で積極的に取り入れることで、文化への興味と地域のつながりを作ることも可能ではないか」「琉歌をつくることで、英語の学習でもなされるように単語を調べたり、文章を作成すると習得できるようになるのではないか」と提案したところ、クラブ活動、総合学習での取り組みは可能という答弁をいただきました。

幼いころから、触れる機会があれば照れもなくなります。ぜひとも実行に向けて学校での時間を作っていただきたいと思います。



首里振興会の「島くとうば大会」

## 05 那覇市歌を歌えますか？



議会初日には那覇市歌を斎唱します。実は議会に入るまで知らなかったという人も多いのではと思っています(スママセン私もです)。小中学校時代の校歌は覚えているので、そのころから歌えば覚えるに違いないと思い、今の中学校では那覇市歌を教えていたのか?そんな単純なことからの質問でした。2017年度に那覇市歌は3番までだったのが7番まで増えました。その際CDの作成などで150万あまりの経費をかけています。指導をしている学校は那覇市内53校中4校…そうであるならばしつ

かりと学校や公共施設での周知するべきであると思います。各地域の情景が盛り込まれている素敵な市歌です。ぜひ皆様にも知りいただき、みんなで歌い那覇をもっと好きになればと思います。

7番中私の住む首里を歌った5番を抜粋。

守礼の邦の城下町、歴史の息吹受け継がん、万国津梁ここにありあしたをひらく我が那覇市



地域の課題や問題、そしてこの那覇市がもつ可能性について、各業界の方々にお話を伺います

### 第2回

沖縄県飲食業生活衛生同業組合  
鈴木 洋一 理事長

よしとよ(以下、よ) 今日はありがとうございます。今日は沖縄県飲食業生活衛生同業組合(以下飲食業組合)の鈴木理事長からお話を伺います。私も飲食業組合の役員として10年以上が経っております。鈴木理事長が那覇支部長として活動なされていました。

那覇市の市魚「まぐろ」の制定から周知と消費強化に向けてご尽力いただき、現在は市魚としての認識も高まっています。飲食業の発展は地域を盛り上げると思いますので、今後も飲食業発展にご協力できればと考えております。改めまして本日はよろしくお願いします。

現在の課題でよく耳にするのが「人手不足」ですが、飲食業の現状について教えてください。

鈴木理事長(以下、鈴) まずはせっかくですので那覇市魚「まぐろ」の話を少し、実は沖縄県のまぐろは質が良く、高価なものは県外へ出していたので「空飛ぶまぐろ」と呼ばれていました。今は県内飲食店でも仕入れる店舗が増えているので良い傾向だと思います。

さて、ご質問の人手不足についてですが、非常に

大きな問題となっています。

私どもの会員で、お客様も多く利益も出ていたのですが十分な人手が確保できず、人件費が段々と割高になってしまい、結果撤退という店舗があります。

よ 対応について何か手立てを講じているのでしょうか?

鈴 外国人の労働者について、きちんと向き合っていかなければと感じています。

私どもの全国組織では外国人人材が在留資格を得られるように語学、技能や知識を習得することができる団体の設立に動いております。実習・研修で招いたあとに滞在期間を延長できるような体制づくりが必要で、早急に取り組むことが望まれています。

よ 本当にその通りかと思います。実際に私にも「誰かはたらく人紹介してくれ!」というお話をよくあります。他にも組合活動での課題や今後の取り組みを教えてください。

鈴 昨年末にも大きく話題になりました、無断キャンセル(No show)の件です。このようなキャンセルをされると食材の準備や本當なら来店いただけるかもしれない方をお断りすることでのロスがあります。結果としてお客様への負担にも繋がりますので、予約に関してのガイドラインを定めていくことを飲食業組合としても考えています。

また、沖縄県としての取り組みですが、「琉球料理のユネスコ無形文化遺産としての登録」も活動として行っています。

琉球料理は中国の冊封使の歓待のために、さらには薩摩侵攻以来はその役人の食事、その後に

アメリカ世の影響もあり、現在へと繋がりますが、特に宮廷料理や泡盛を後世へ伝える必要があると考えています。

今はアジアから「一番近い日本」として観光で和食を求める外国人も多いのですが、この活動が将来の沖縄の観光にも良い影響があるはずです。

よ 私も家業が琉球菓子を製造販売しています。そのおかげをもって今があるので、とても強く共感します。ぜひ私も協力させてください。

最後に健康づくりについてですが、飲食店内での受動喫煙が問題として扱われていますが、この点はいかがでしょう?

鈴 現在、飲食店の受動喫煙対策は禁煙か分煙か、加熱式タバコが吸えるのかなどを明確にする取り組みを考えています。来年には東京オリ・パラを迎えることもあり、さらに時代に対応する取り組みを進めていきたいと思います。今後も、飲食業の発展のためにお客様からも声をいただければと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

※2019年6月には約2000名をお招きする全国飲食業生活衛生同業組合の全国大会が沖縄県で開催されます!

那覇市にも多くの方がお見えになる予定です。

